

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	玄関は、暗証番号により現在は、施錠している又生活スペースは2階建ての2階部分であり1階部分が外部への出入り口となっており目が届かない為、安全面において現状は、施錠している。	今後日中の時間帯だけでも施錠しないよう心掛けていく。	運営推進会議でも課題として取り組み近隣住民及び自治会への働きかけ家族様、併施設各サービス事業所等の協力体制を働きかける、施錠しないよう取り組みを検討し、職員が十分配慮できる時間帯に少しでも施錠しないよう取り組む。	6ヶ月
2	18	利用者様を共に支えあう家族との関係を深める。	家族様の面会時及び、毎月のグループホーム便りの送付による利用者様の近状の報告し、共に取り組む関係を築いて行く。	家族様と職員との良い関係を築いていけるよう会議の開催又、家族様同士の交流を持って頂けるように家族会の設定の準備を図って行く。	3ヶ月
3	12	就業環境の整備	職員個別によるヒヤリングを行い職員の悩み事や思い等、職員がやりがいや向上心を持っていただけるよう努めて行く。	管理者よりのヒヤリングの開催年数回の開催と職員が仕事の上での悩み事行き詰まり等あれば、傾聴できるよう心掛けて行く。	3ヶ月
4	23	利用者様、家族様の今後の思い生活歴を十分知り、コミュニケーションを深めより良いケアにつなげる。	センター方式を取り入れる、アセスメント記録の充実を図る。	センター方式の勉強会を定期的に行い計画作成担当者、居室担当者、相談員、また可能な家族様にも参加して頂き作成、サービスの質の向上に取り組む。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。